

成田山新勝寺の不動明王

成田山新勝寺では、真言宗の開祖、空海(774-835)が自ら彫ったとされる不動明王像を祀っている。空海は日本で最も影響を及ぼした仏僧のひとりで、弘法大師の諡号でも知られている。

不動明王像は 939 年の朝廷に対する反乱を鎮めるために成田にもたらされた。不動明王 (Immovable Wise One)は、明王(Wisdom kings)と呼ばれる仏のグループの中でももっとも中心的な存在である。彼らはみな猛々しく、勇ましい見た目をしている。これは、悪を抑え不信心を払い、仏法を浸透させるためである。

不動明王は、日本で最も崇敬される仏のひとつでもある。不動明王は怒りを救いに変える。この仏は何世紀にも渡って人々を成田山新勝寺に集め、物欲を燃やし去る護摩の儀式へと参加させた。